

2007年度(2008年3月期) 中間期(第2四半期)決算説明会

2007年10月31日

セイコーエプソン株式会社

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

本説明資料における表示方法

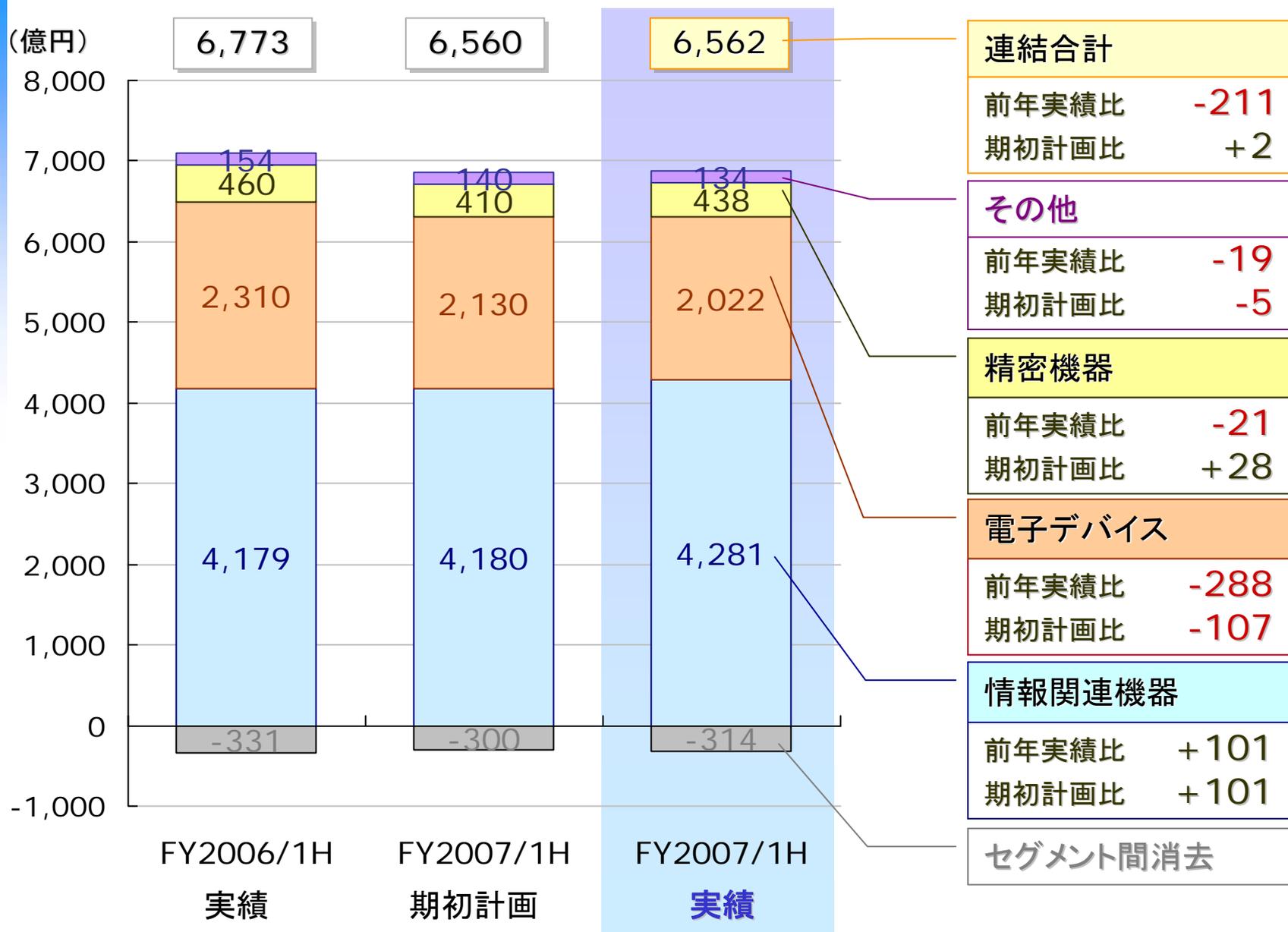
数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

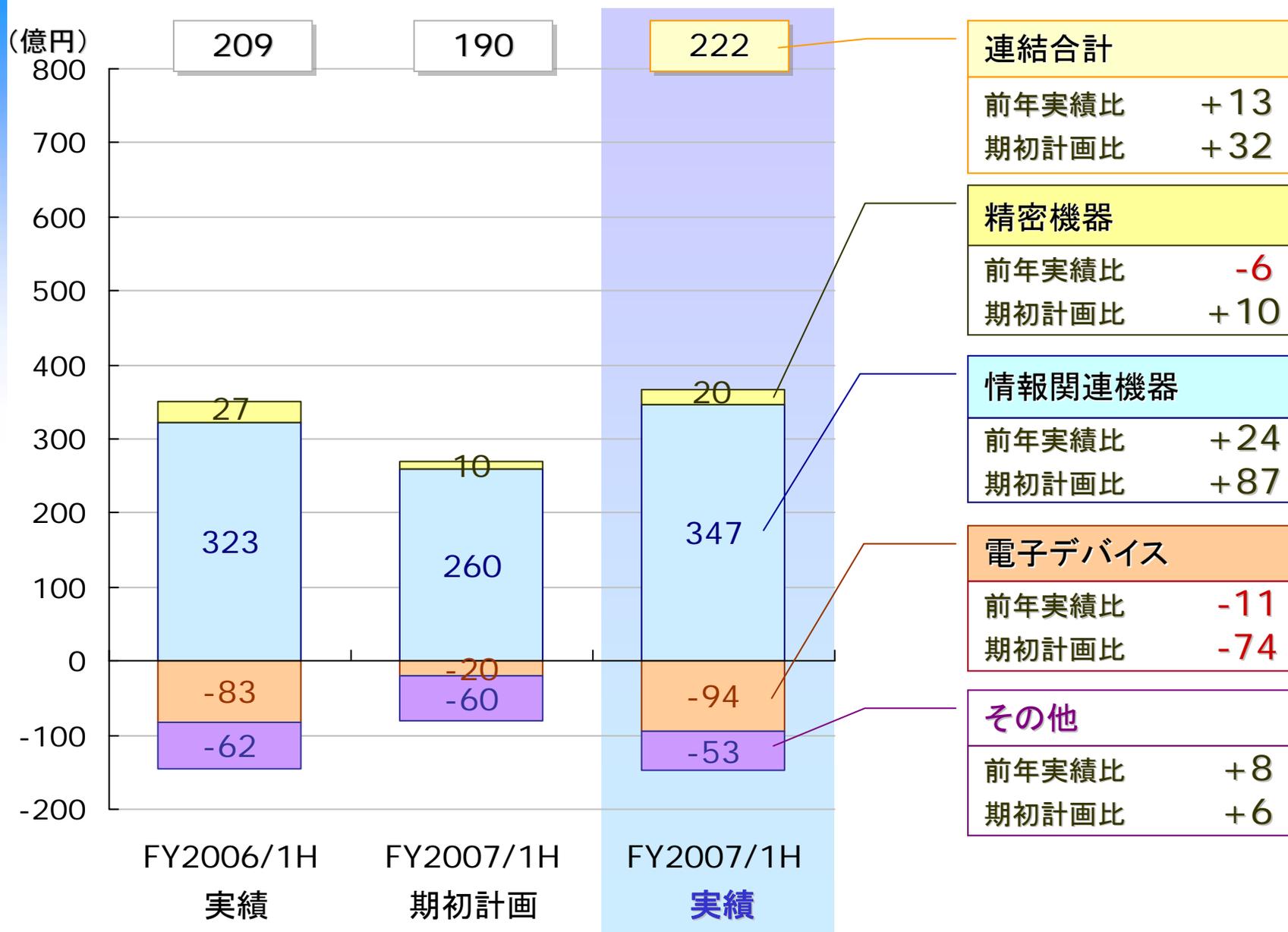
1) 概要

2) 詳細

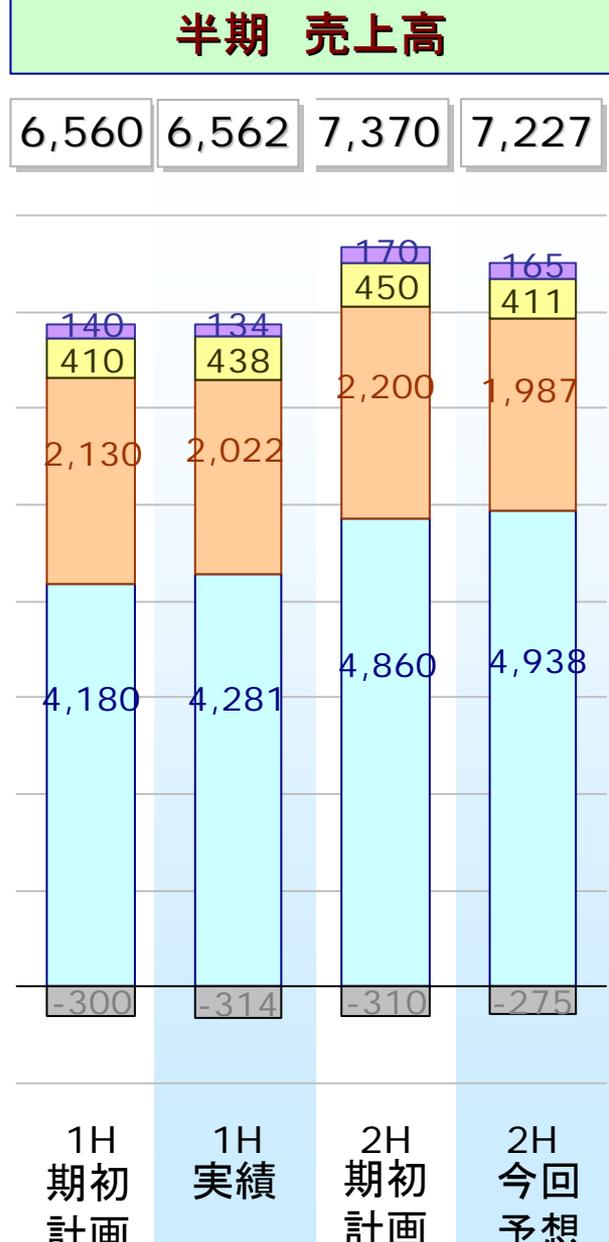
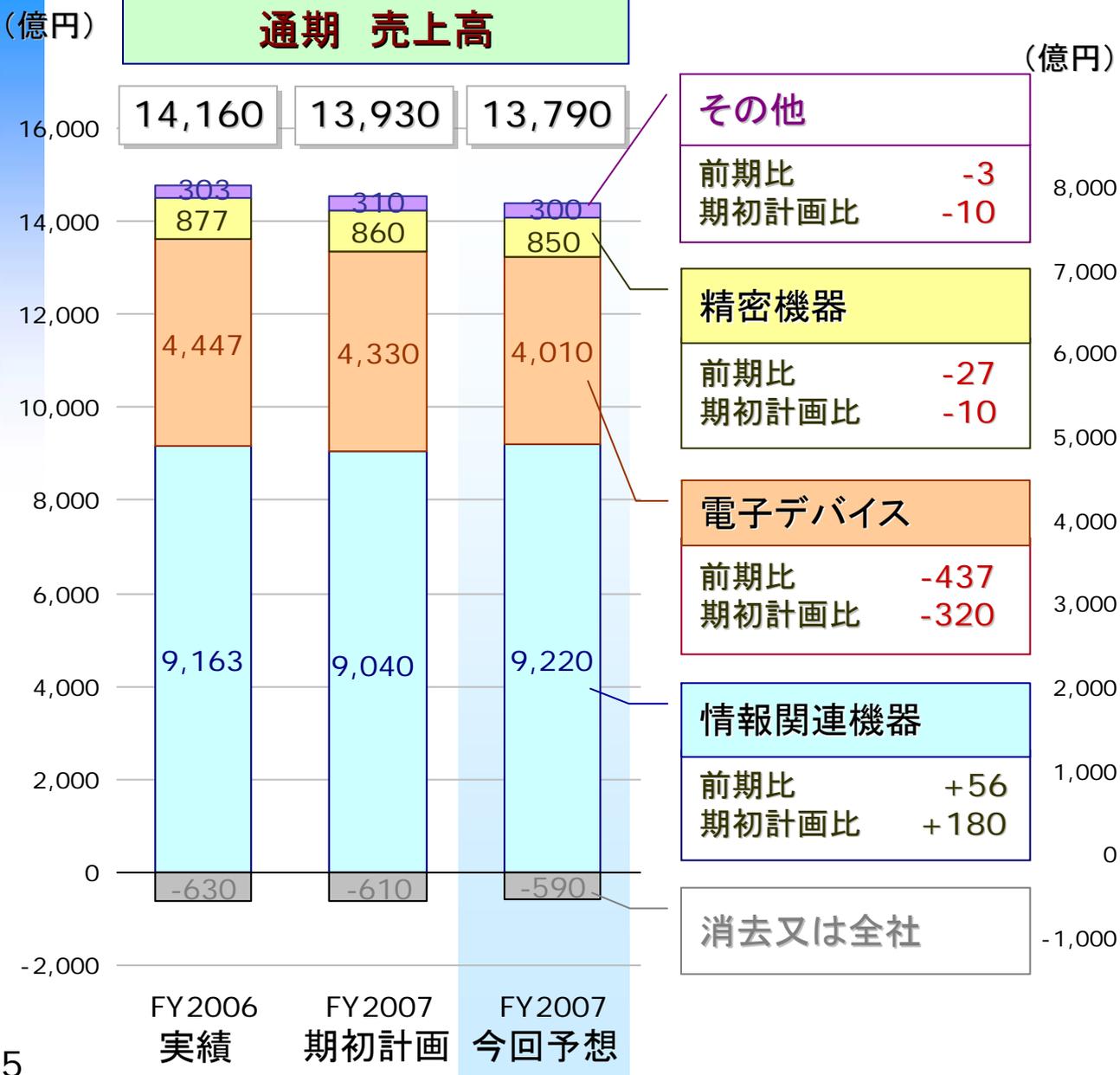
中間期決算概要売上高比較▶事業セグメント別



中間期決算概要営業利益比較▶事業セグメント別



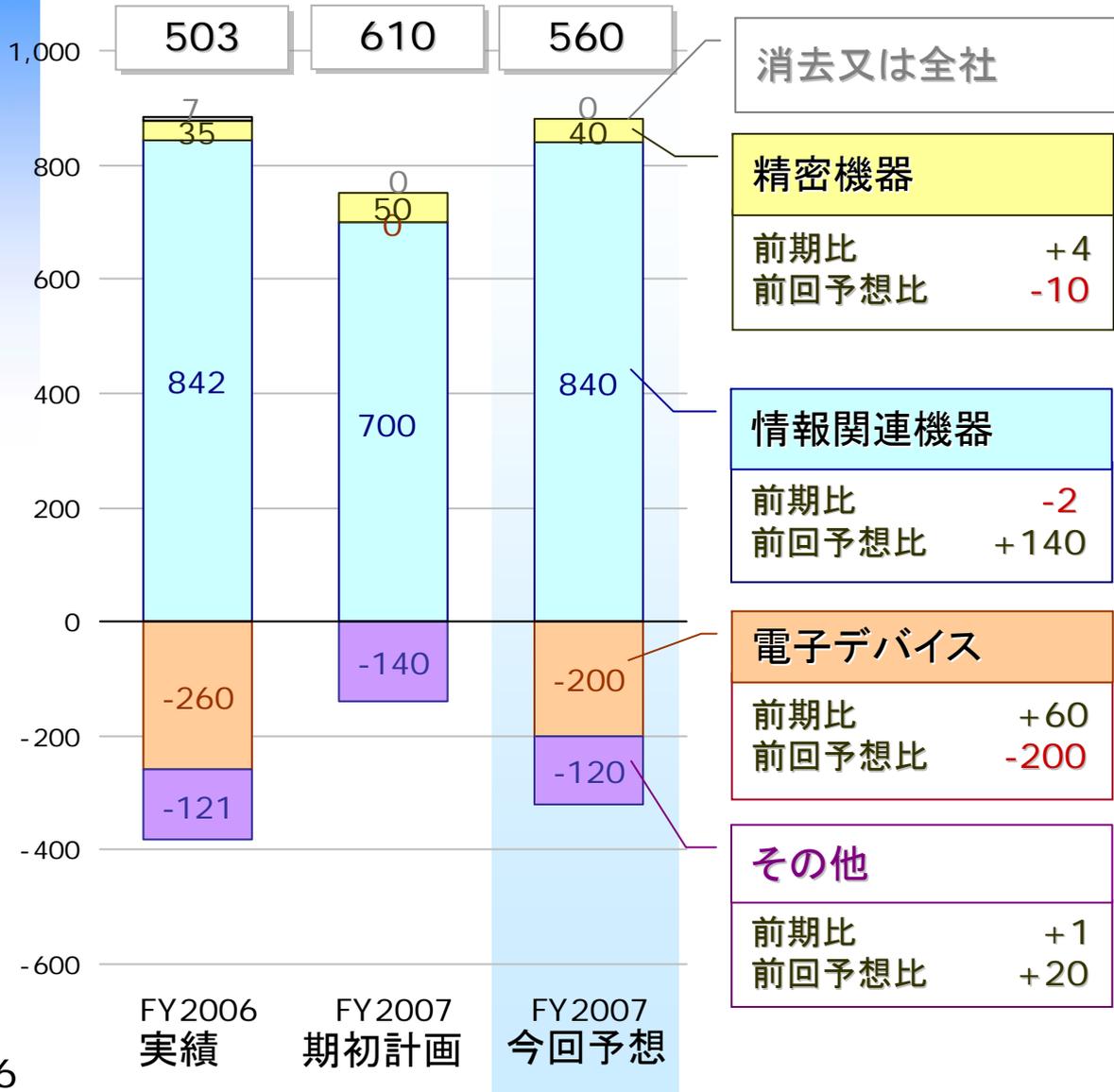
2007年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



2007年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別

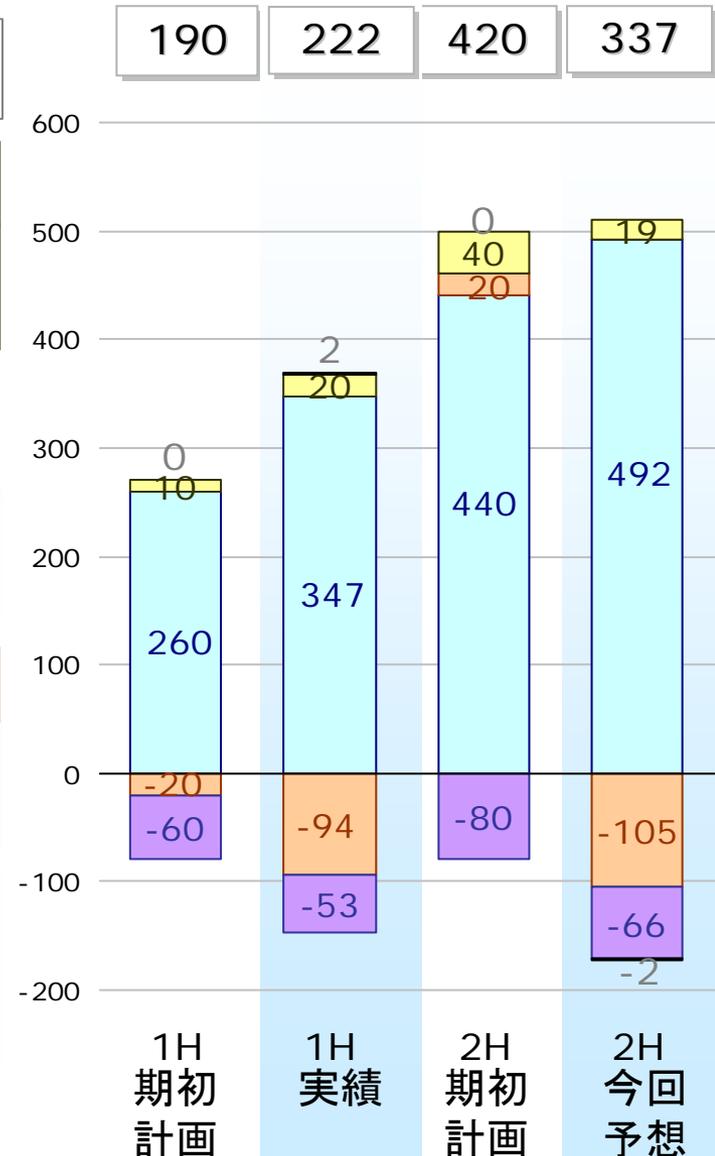
(億円)

通期 営業利益



(億円)

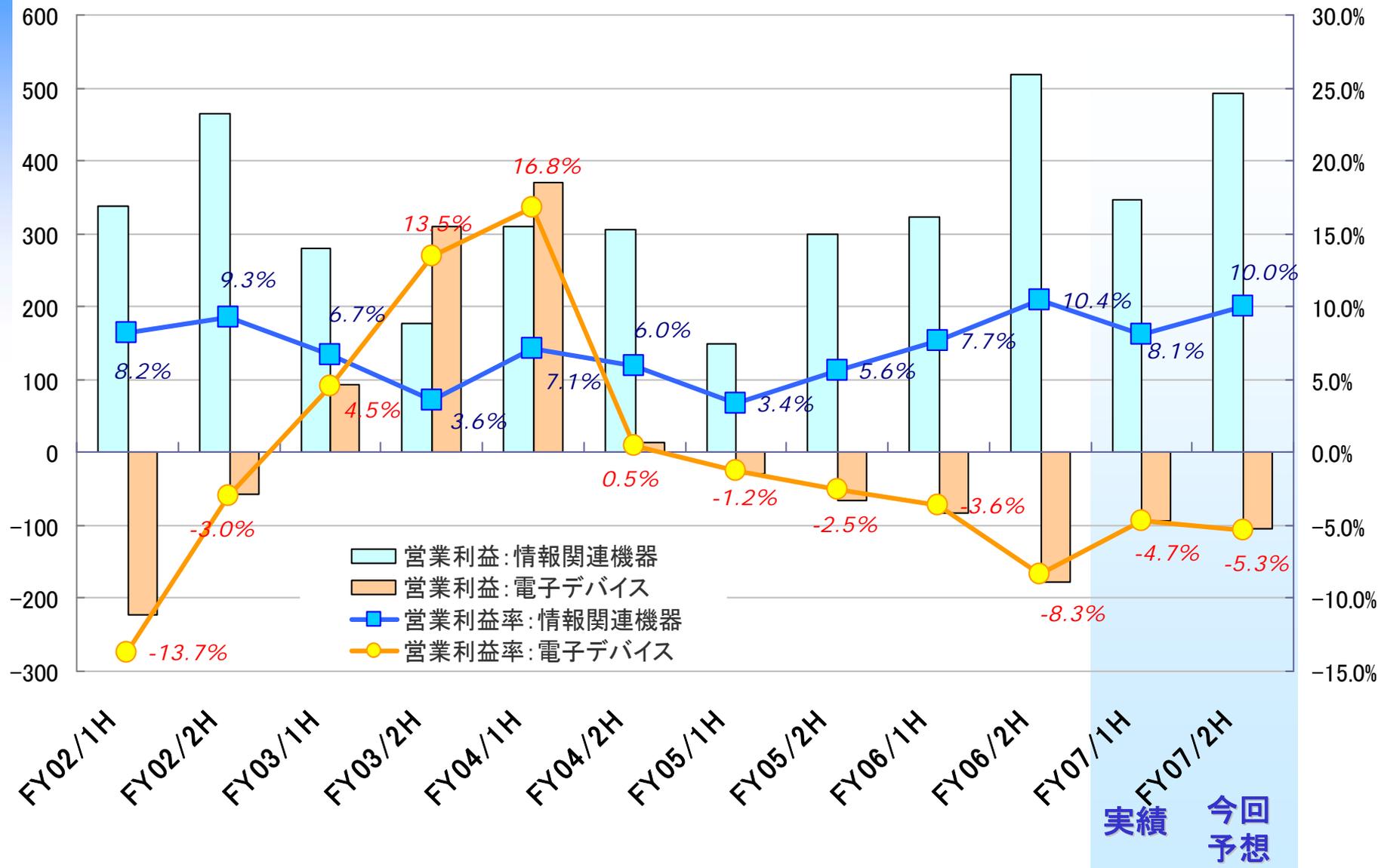
半期 営業利益



営業利益の推移

営業利益(億円)

営業利益率



情報関連機器セグメント

インクジェットプリンタ

短期的な収益と中期的な成長を見据えたバランスのとれた取り組み

将来の消耗品売上を意識した、本体の販売数量の拡大に向けた施策の展開

- 商品ラインナップの充実、競争力のある新製品の投入
 - 使い易さや楽しさを向上、SOHOでも使えるスピードを実現
 - 競合他社と比較しても、有利なスペック
- コストダウンの徹底推進
- 引き続き、消耗品の純正率向上に向けた取り組み



中期的に収益の柱となる、ビジネス・産業分野への着実な取り組み

- 新型マイクロピエゾヘッド搭載の高速64インチLFP「PX-20000」の発売
- インクジェット方式のミニラボの発売



プロジェクター

- 商品ラインナップの充実
 - ホーム向け、ビジネス・教育市場向けに競争力のある魅力ある新製品を投入



電子デバイスセグメント

中・小型液晶ディスプレイ

- 3月14日発表のディスプレイ事業構造改革の進捗
 - C-STN, MD-TFDは、それぞれ基本方針に沿って推進中
 - a-TFT, LTPS
 - a-TFT:稼働率は改善
 - LTPS:高精細を生かす分野が拡大しつつある
 - しかし、期待したポートフォリオの転換によるモデルミックスの改善は計画に対しては遅れ
 - 固定費は計画どおりに削減中
 - 超広視野角・高精細・高速応答 Photo Fine Vistarich技術をコアとしてアプリケーションを開拓

HTPS

- ホーム向け市場が伸び悩んでいるが、ビジネス・教育向けのプロジェクター市場の伸長に対応
- コストダウンへの取り組み

水晶デバイス

- 携帯電話、PC、デジタル家電向けに数量が増加
- 市場の価格低下に対応し、より付加価値の高い領域も拡大

1) 概要

2) 詳細

決算ハイライト(中間決算)

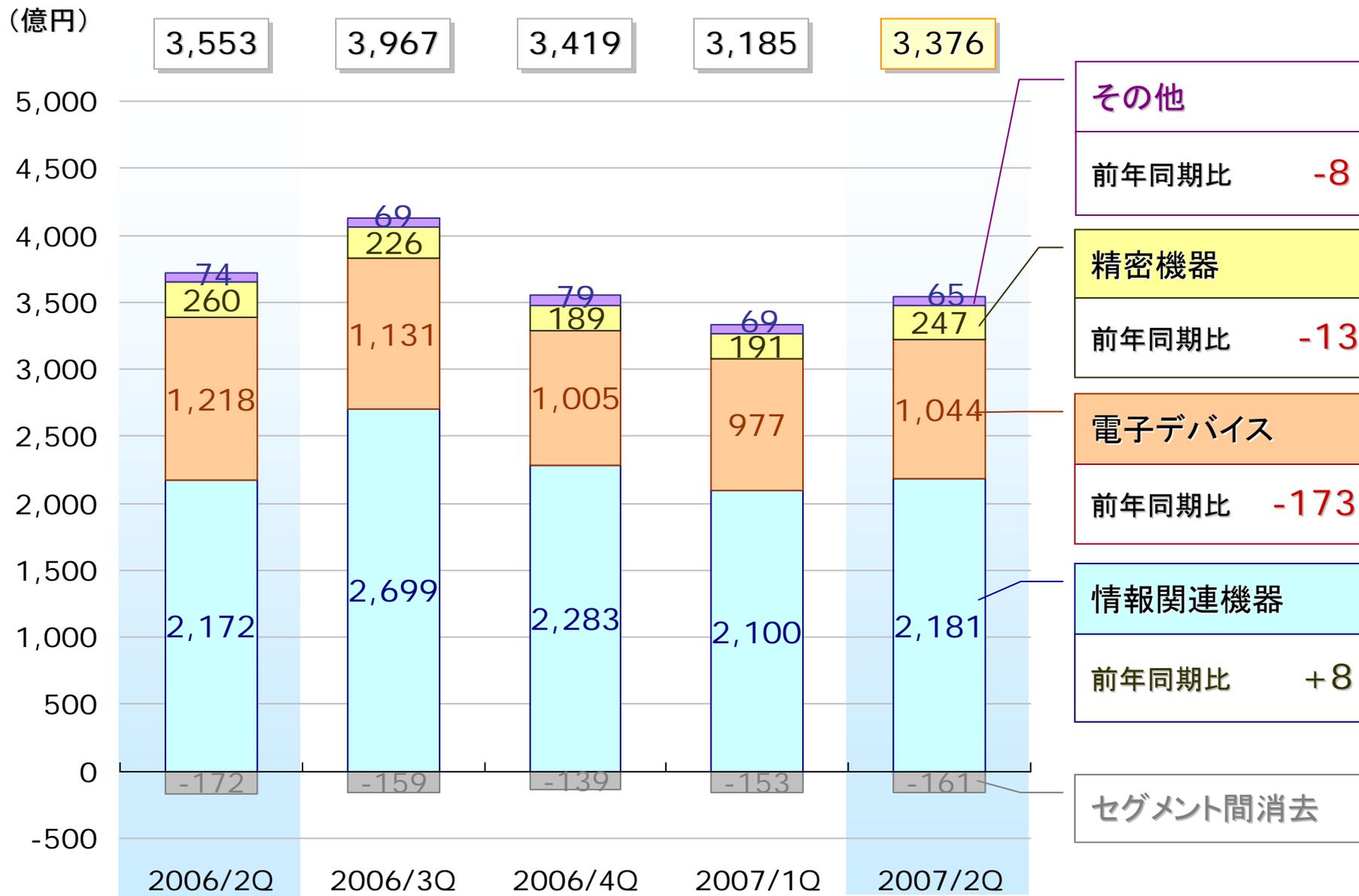
(億円)	2006年度		2007年度				増減額 増減率	
	実績	%	期初計画	%	実績	%	前期 実績比	期初 計画比
売上高	6,773	-	6,560	-	6,562	-	-211 -3.1%	+2 +0.0%
営業利益	209	3.1%	190	2.9%	222	3.4%	+13 +6.2%	+32 +17.2%
経常利益	208	3.1%	190	2.9%	258	3.9%	+49 +23.8%	+68 +36.0%
税引前利益	162	2.4%	160	2.4%	221	3.4%	+59 +36.7%	+61 +38.5%
中間純利益	4	0.1%	70	1.1%	32	0.5%	+28 +688.9%	-37 -53.5%
EPS	2.10 円		- 円		16.59 円			
換算 レート	USD	115.38 円	114.00 円		119.33 円			
	EUR	145.97 円	148.00 円		162.30 円			

*7/27前回予想(中間期)の為替前提は
USD: 118.00 / EUR: 161.00

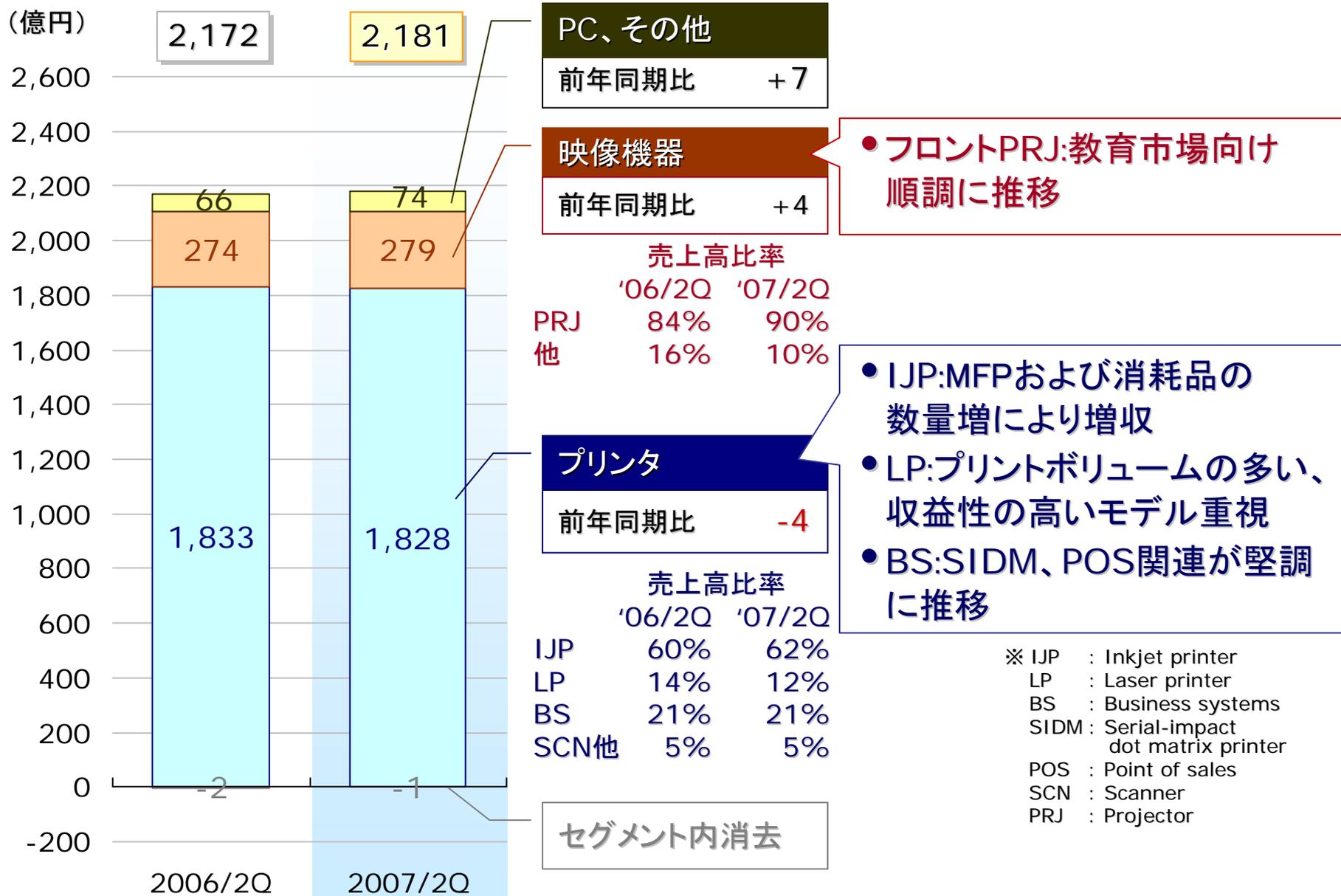
決算ハイライト(第2四半期決算) ▶ 前年同期比

(億円)		2006年度		2007年度		増減	
		2Q実績	%	2Q実績	%	増減額	増減率
売上高		3,553	-	3,376	-	-176	-5.0%
営業利益		139	3.9%	105	3.1%	-33	-24.0%
経常利益		145	4.1%	128	3.8%	-17	-11.7%
税引前利益		106	3.0%	98	2.9%	-7	-7.3%
四半期純利益		60	1.7%	19	0.6%	-41	-67.7%
換算 レート	USD	116.26円		117.87円			
	EUR	148.16円		161.88円			

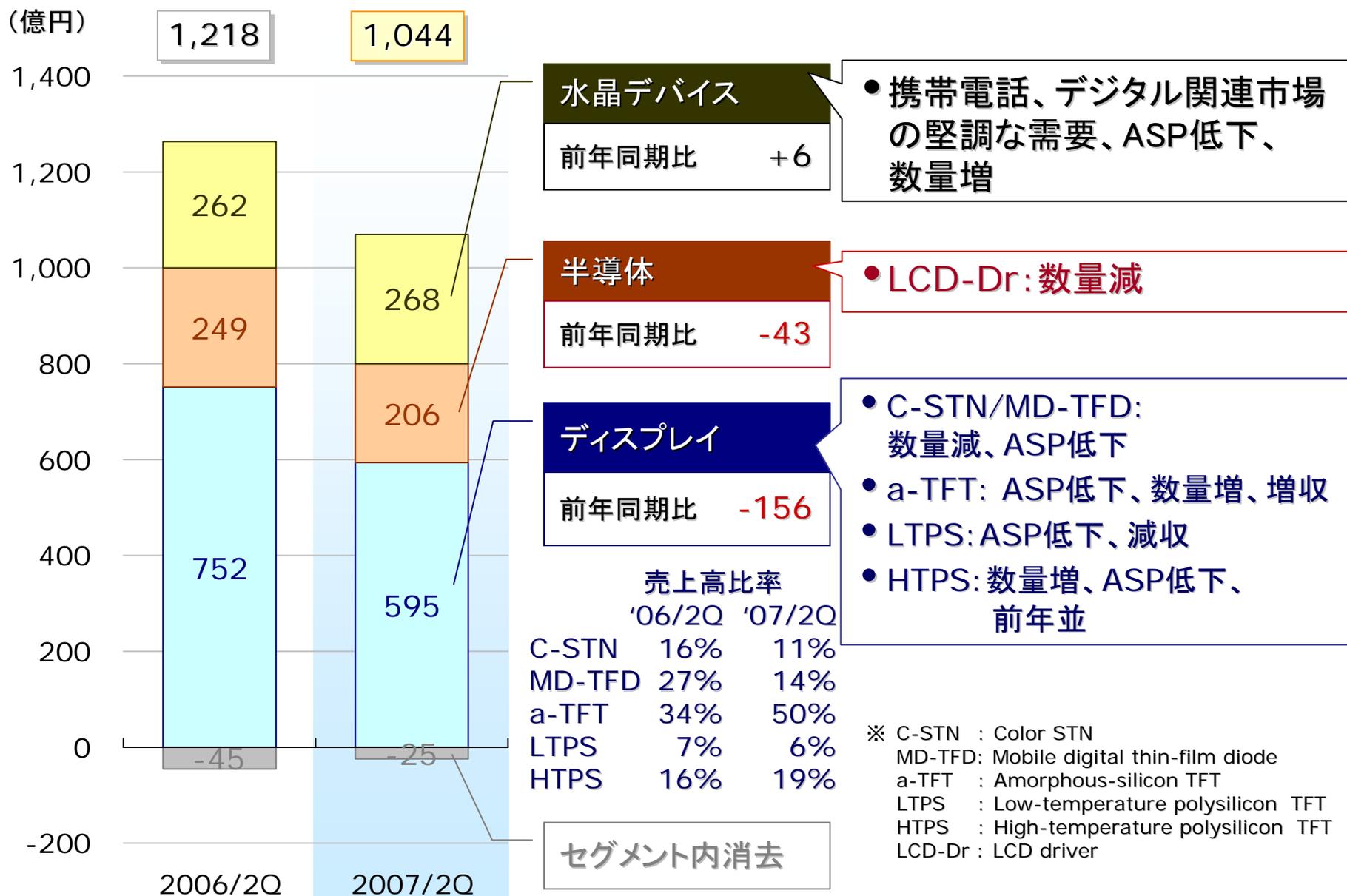
四半期売上高推移▶事業セグメント別



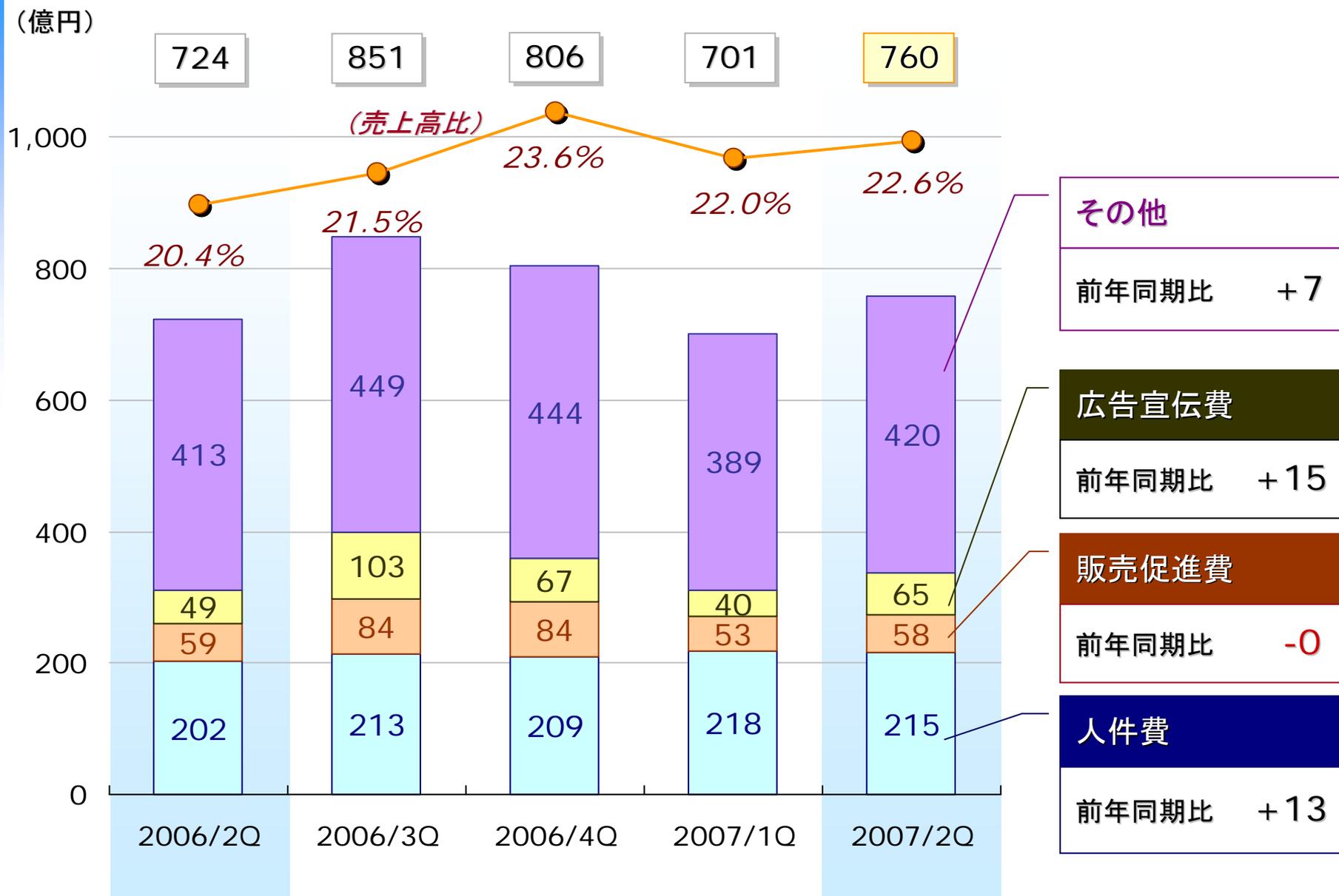
四半期売上高比較▶情報関連機器セグメント



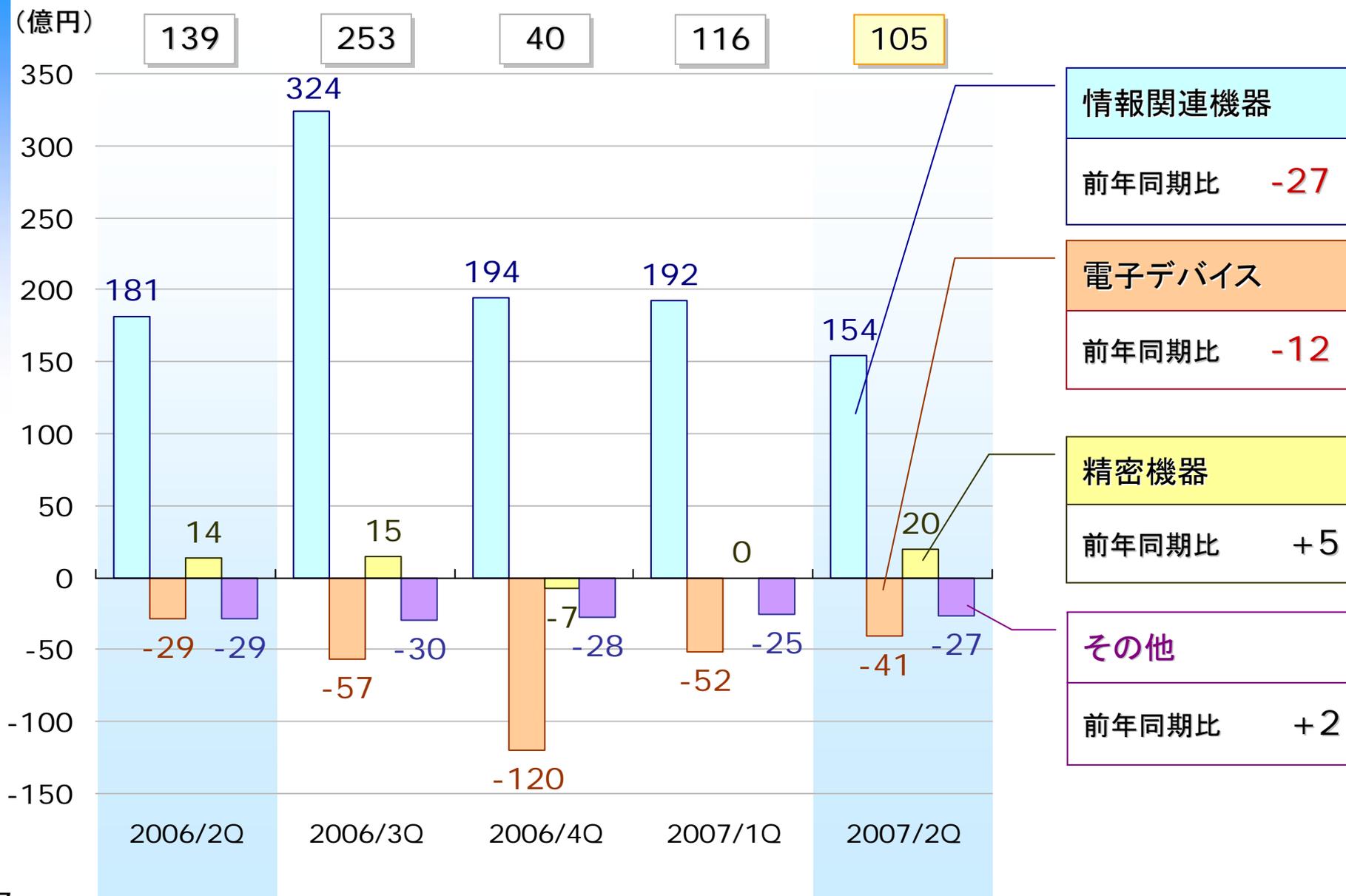
四半期売上高比較▶電子デバイスセグメント



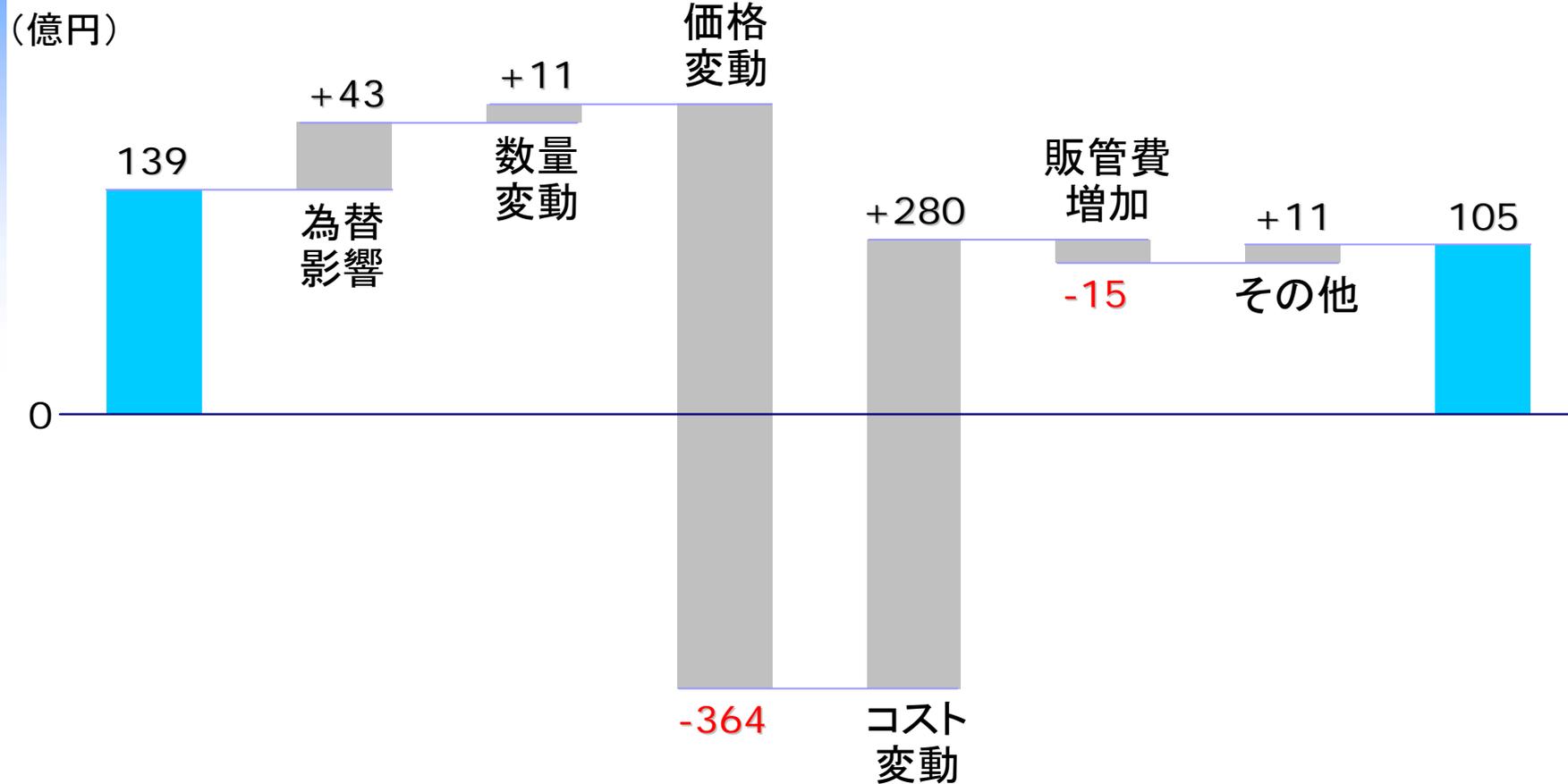
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期営業利益推移▶事業セグメント別



営業利益増減要因分析



営業利益
2006/2Q

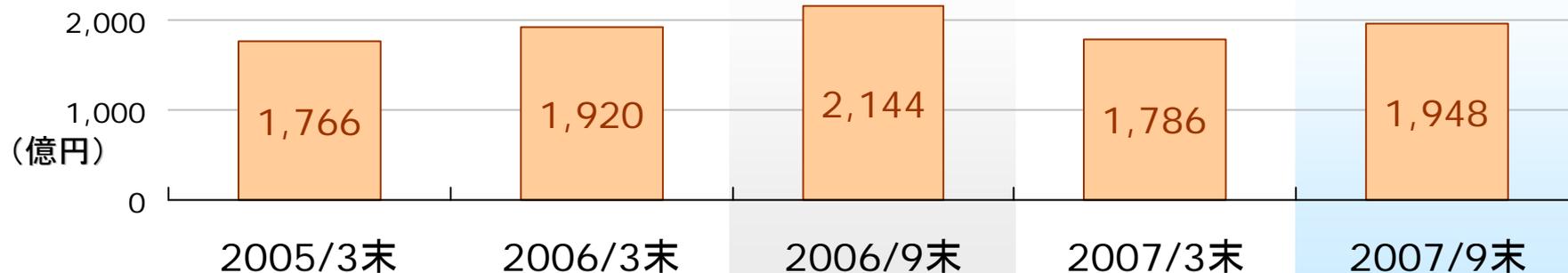
33億円減益

営業利益
2007/2Q

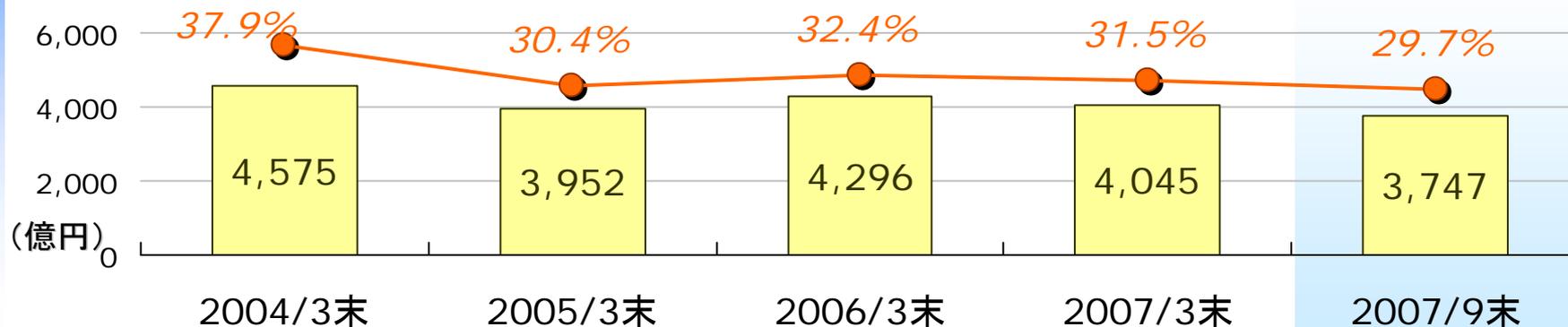
総資産



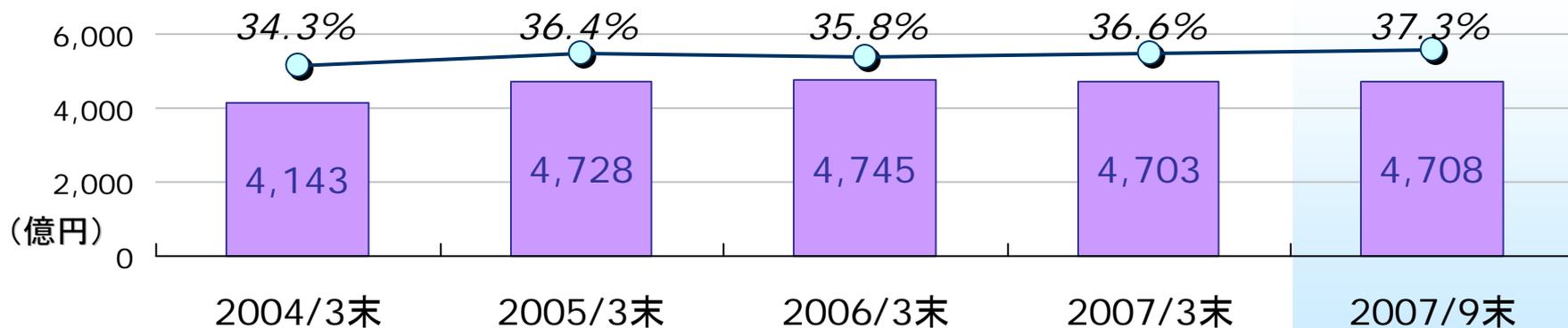
たな卸資産



有利子負債・有利子負債依存度



自己資本・自己資本比率



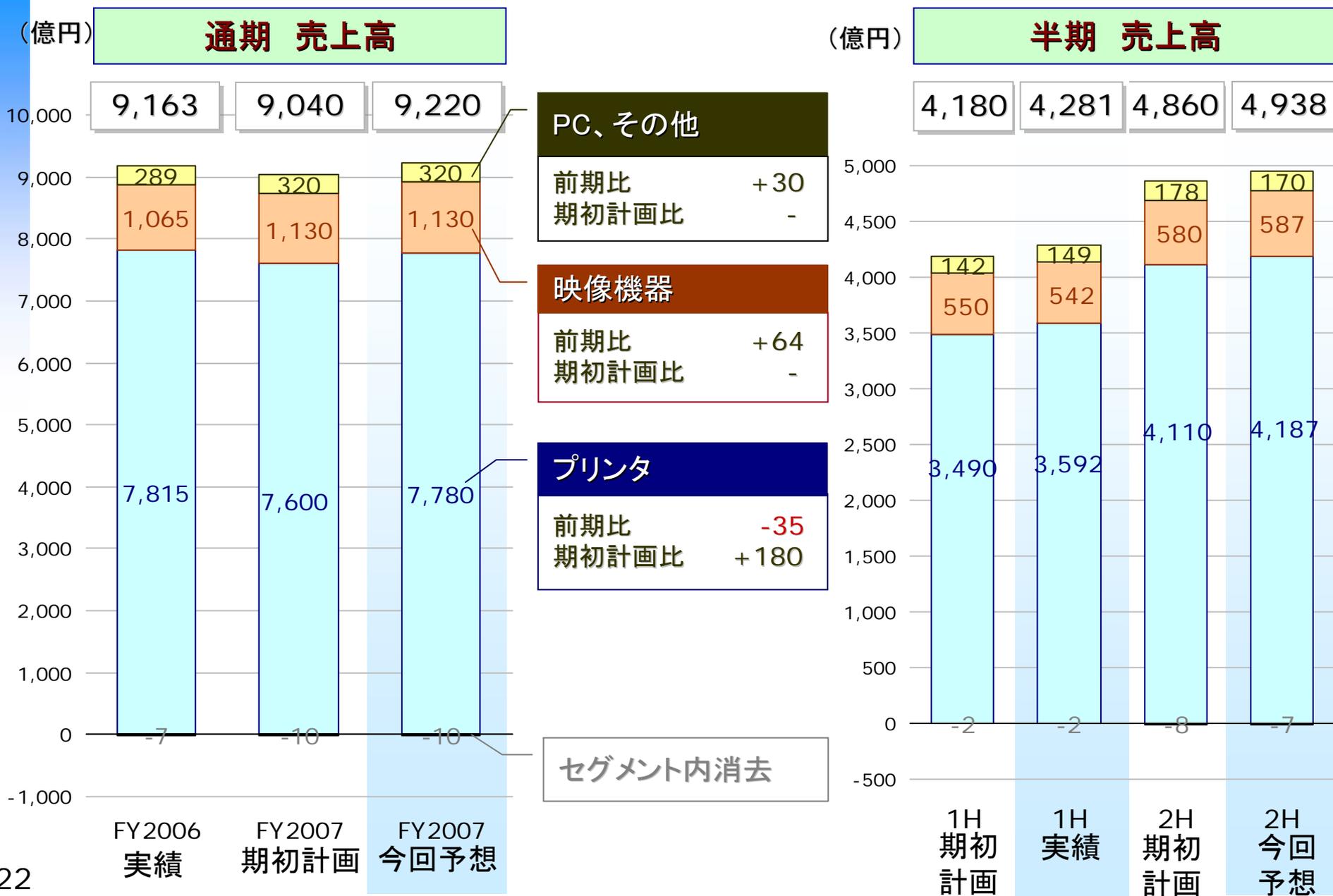
*会計基準の変更にともない、名称を自己資本に変更
2007/9末: 自己資本 = 純資産合計 - 少数株主持分

2007年度業績予想

(億円)	2006年度		2007年度				増減額 増減率	
	実績	%	期初計画	%	今回予想	%	前期 実績比	期初 計画比
売上高	14,160	-	13,930	-	13,790	-	-370 -2.6%	-140 -1.0%
営業利益	503	3.6%	610	4.4%	560	4.1%	+56 +11.2%	-50 -8.2%
経常利益	490	3.5%	600	4.3%	600	4.4%	+109 +22.2%	- -
税引前利益	34	0.2%	550	3.9%	530	3.8%	+495 +1425.0%	-20 -3.6%
当期純利益	△70	-0.5%	300	2.2%	230	1.7%	+300 -	-70 -23.3%
EPS	△36.13 円		152.78 円		117.13 円			
換算 レート	USD	117.02 円	114.00 円		117.00 円			
	EUR	150.09 円	148.00 円		161.00 円			

*7/27前回予想(通期)の為替前提は
USD: 116.00 / EUR: 158.00

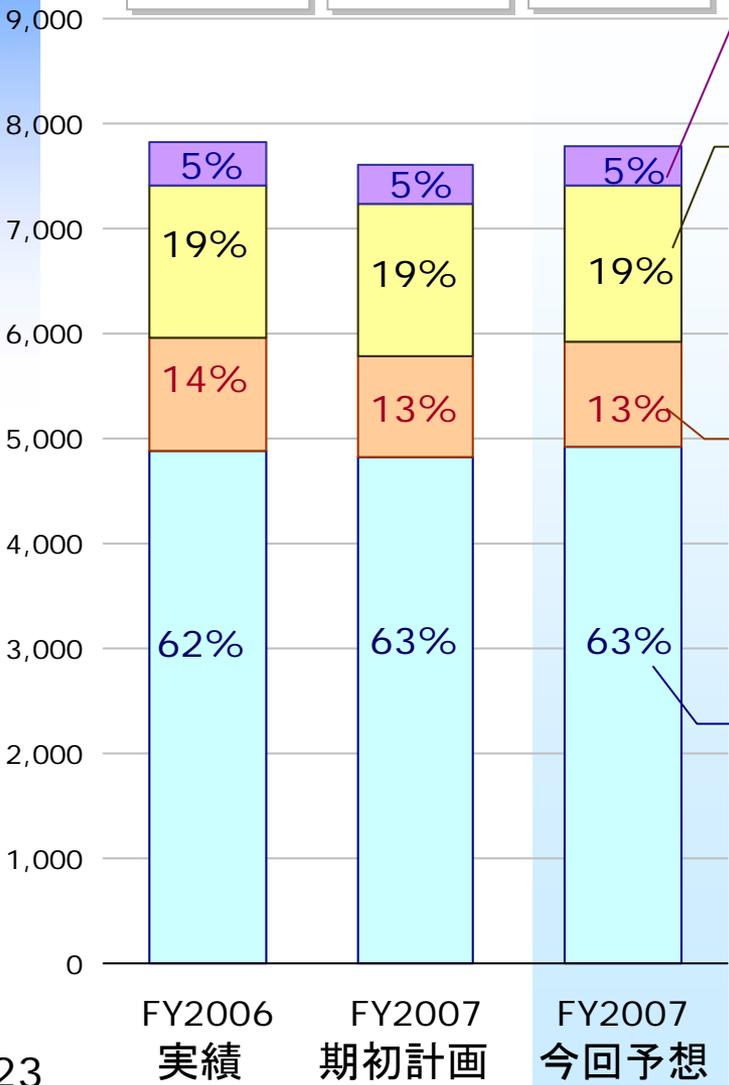
事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



事業別売上高予想▶プリンタ事業

通期 売上高

(億円) 7,815 7,600 7,780



スキャナその他

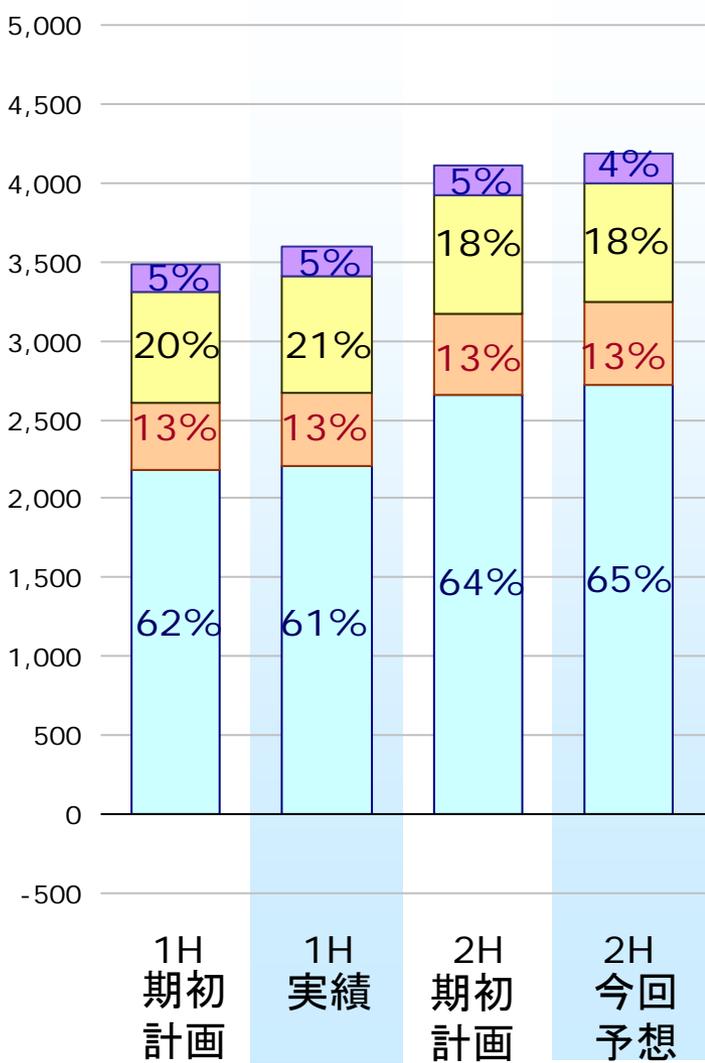
ビジネスシステム

レーザープリンタ

インクジェットプリンタ

半期 売上高

3,490 3,592 4,110 4,187



1H 期初計画

1H 実績

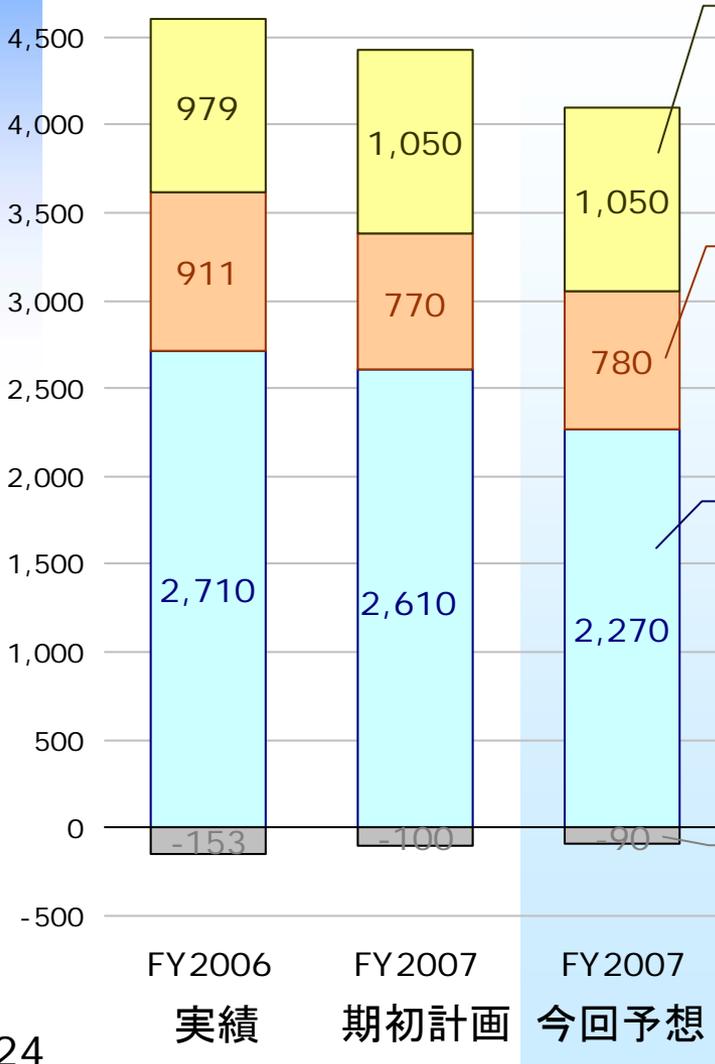
2H 期初計画

2H 今回予想

事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント

(億円) 通期 売上高

4,447 4,330 4,010



水晶デバイス
前期比 +70
期初計画比 -

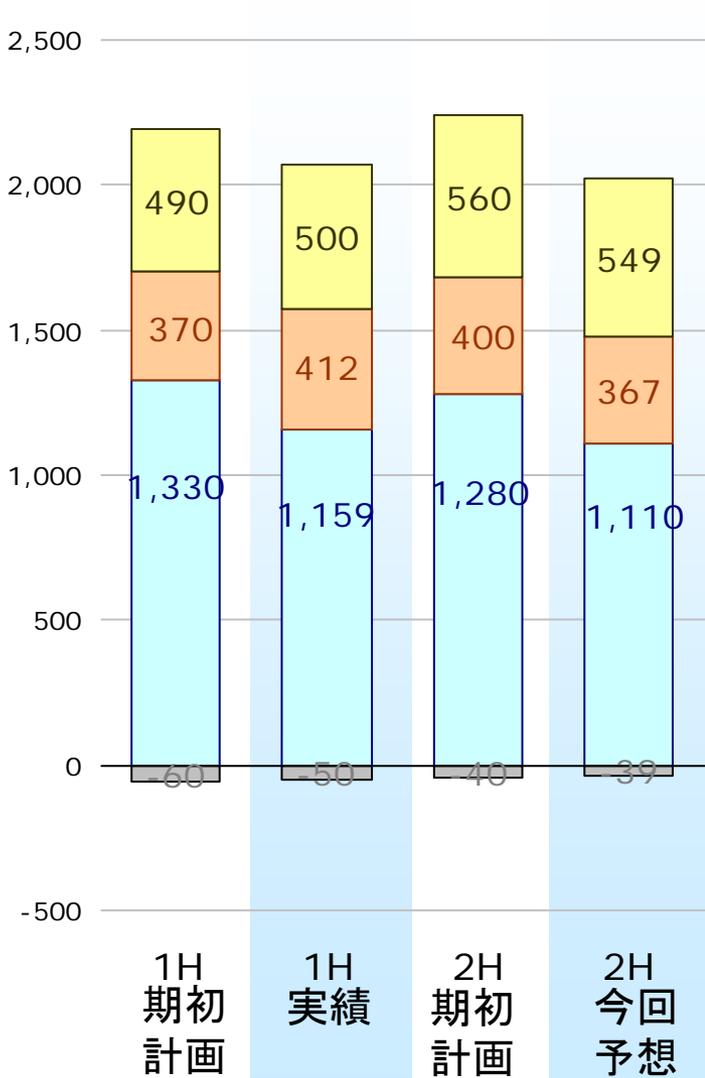
半導体
前期比 -131
期初計画比 +10

ディスプレイ
前期比 -440
期初計画比 -340

セグメント内消去

(億円) 半期 売上高

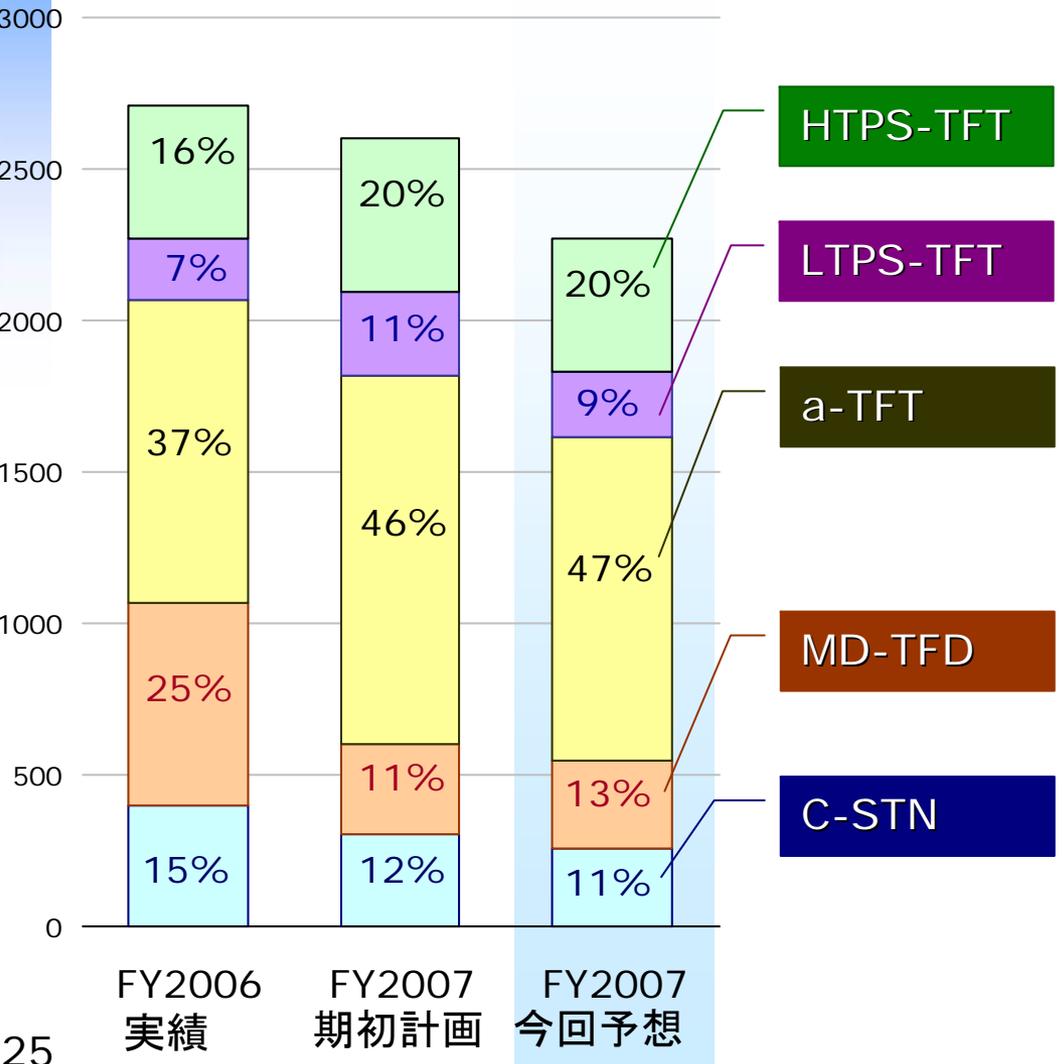
2,130 2,022 2,200 1,987



事業別売上高予想▶ディスプレイ事業

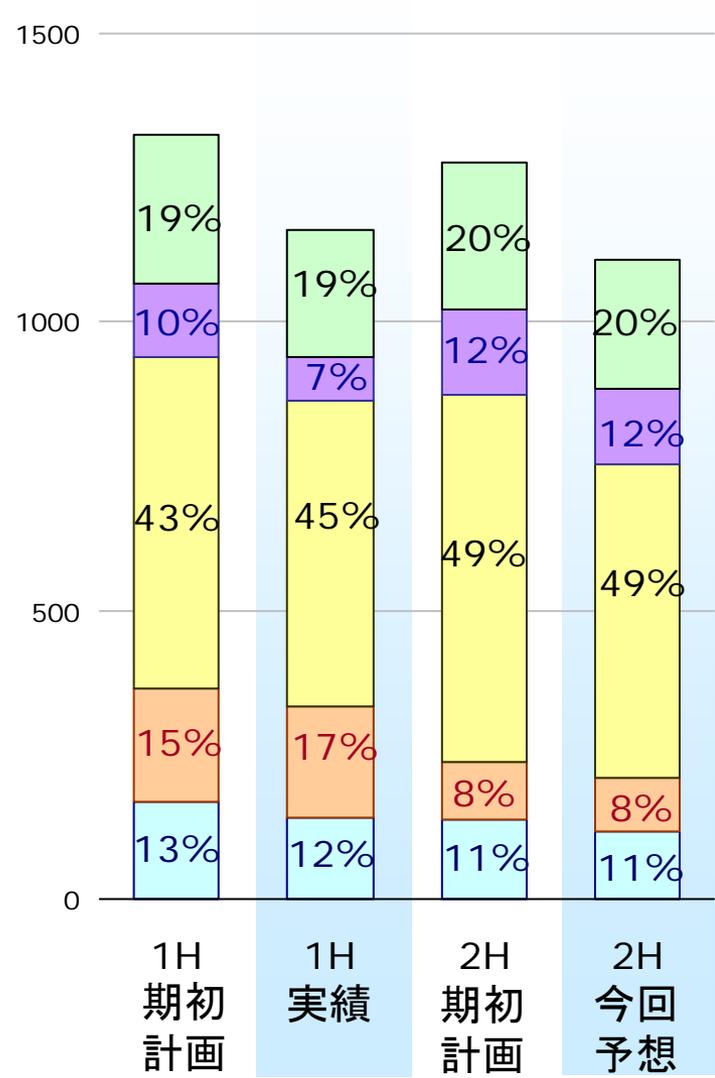
(億円) **通期 売上高**

2,710 2,610 2,270

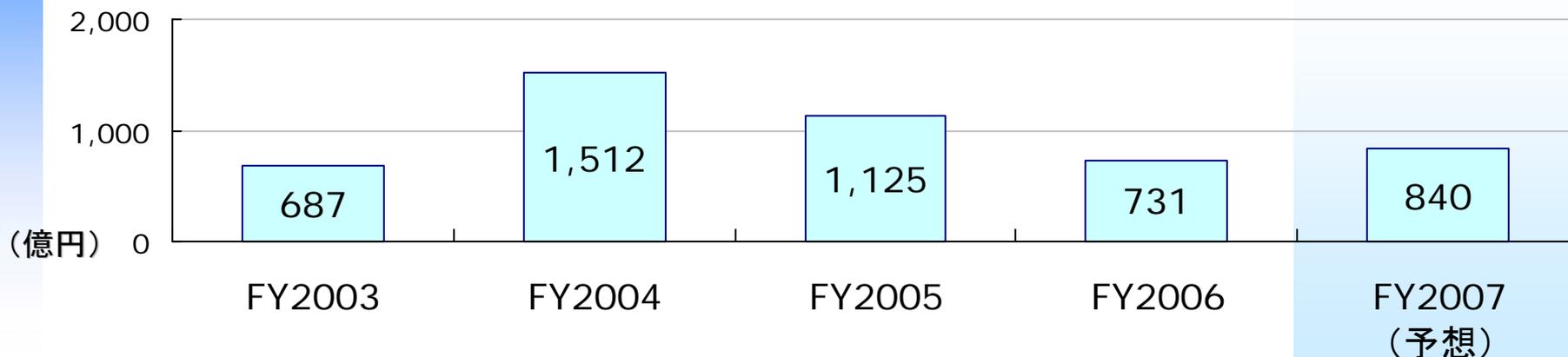


(億円) **半期 売上高**

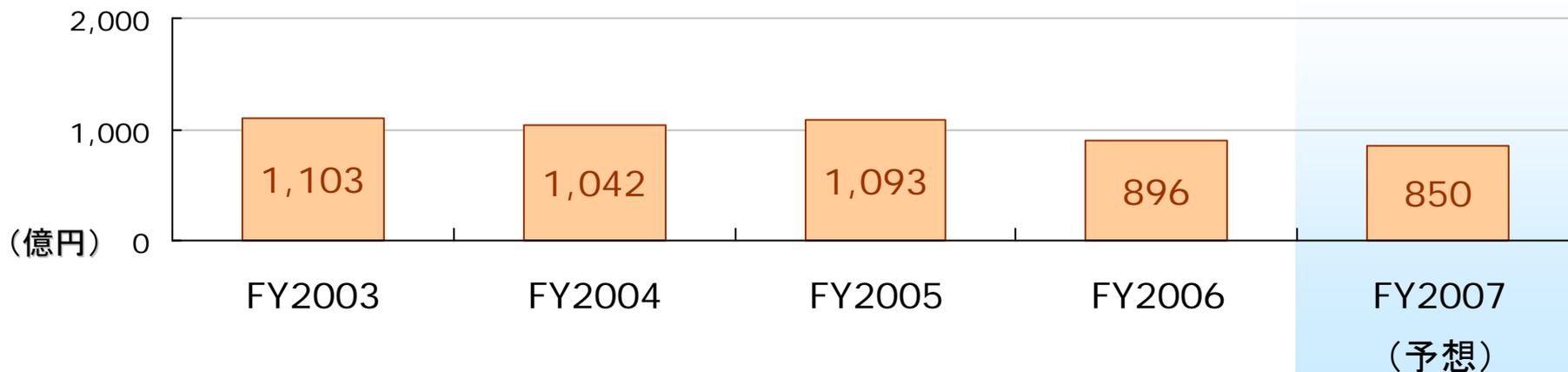
1,330 1,159 1,280 1,110



設備投資

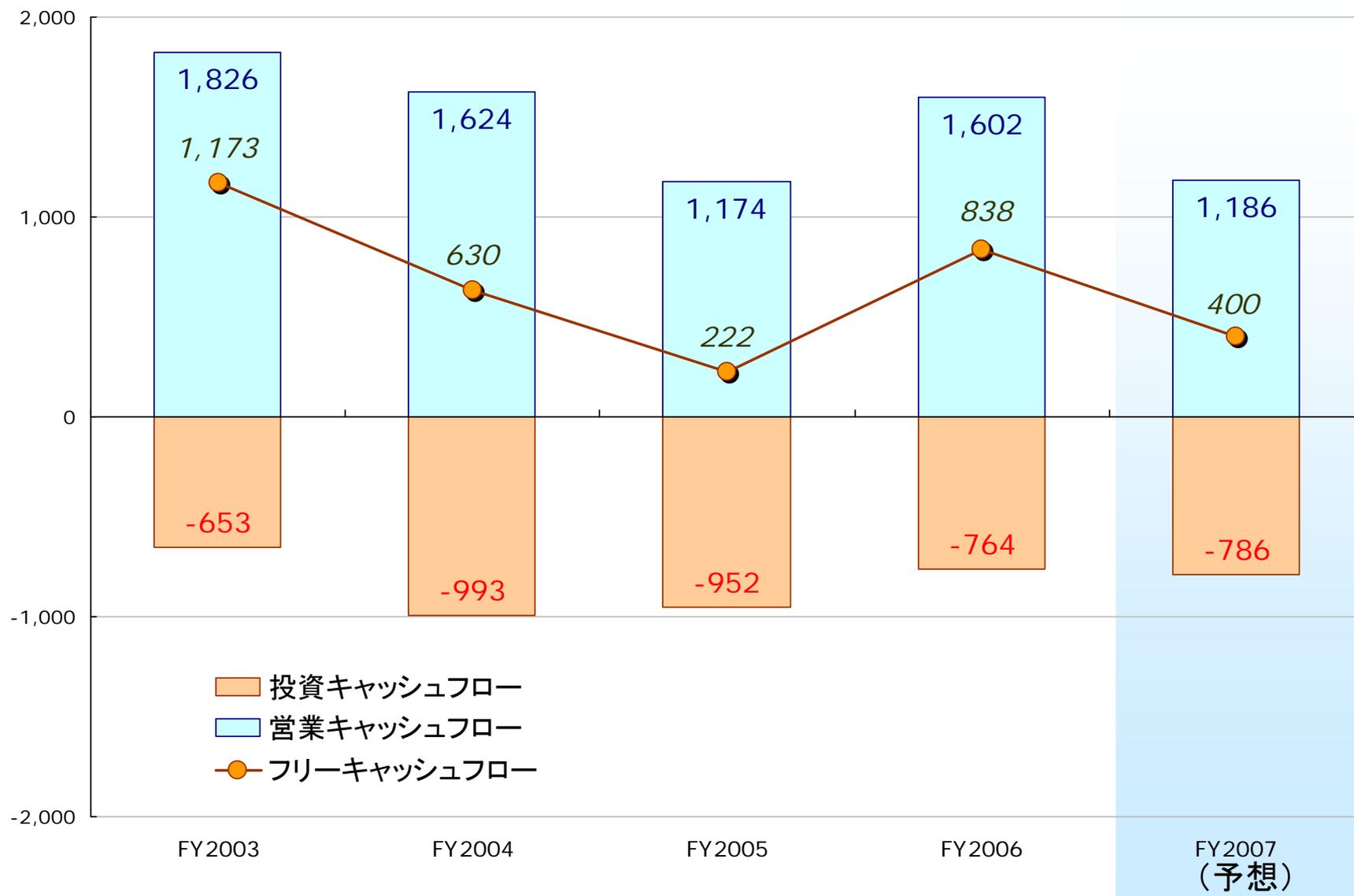


減価償却費

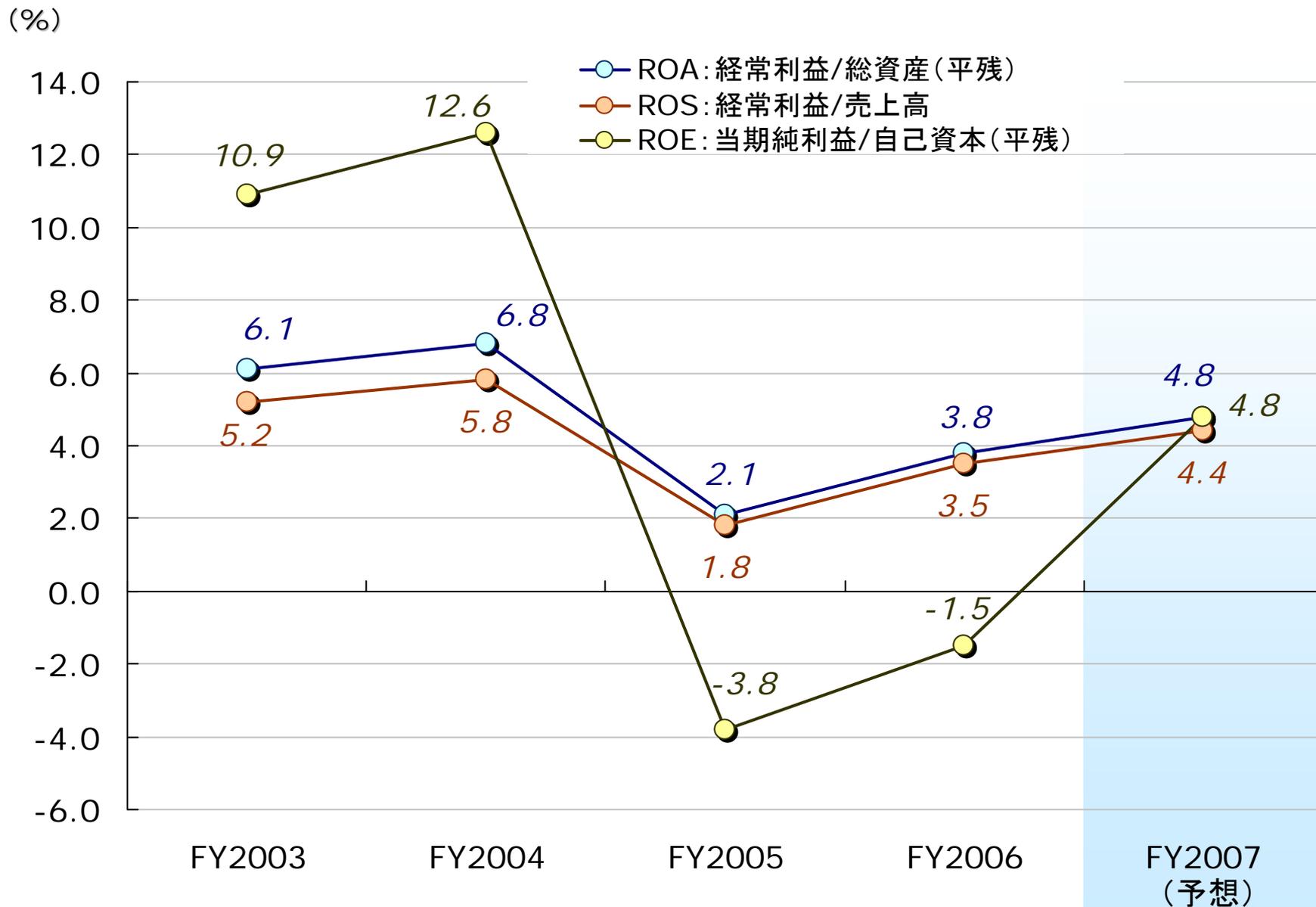


フリーキャッシュフロー予想

(億円)



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION